

親子で天体観測



# 夜空を見上げてみよう

時期：10月

## アンドロメダ銀河とダークマター

季節は秋真ただ中、21時頃には秋の星たちが夜空の見やすい位置に昇ってくるようになりました。その一つであるアンドロメダ座は、秋の四辺形の左上の星を頭にしてるので比較的見つけやすい星座かと思えます。

アンドロメダ座の右脇腹の上部辺りには、肉眼で見えるただ一つの銀河「アンドロメダ銀河」がぼんやりと輝きます。この銀河は、私たちが所属する天の川銀河の近所の巨大な銀河で、星の数は一兆個ともいわれています。それらの星々の光は、250万光年という途方もない距離を渡って地球へやってきます。

1970年代、アメリカの女性天文学者ヴェラ・ルービンは、アンドロメダ銀河を観測して奇妙な現象を発見しました。物質は重力源に近い程、速く回る性質がありますが、銀河の中心付近のガスと、中心から遠くにあるガスの回転速度がほぼ同等であることが判明したのです。これによって回転に影響を与えるほどの質量を持つ「見えない」何かが銀河を包み込んでいることが示唆されました。現在、この「ダークマター」と名付けられた謎の物質の解明に世界中の天文学者たちが挑んでいます。

秋の夜空を眺めながら、「宇宙は目に見えないものだらけ」という事実にも、思いをはせてみてはいかがでしょうか。



アンドロメダ銀河 [国立天文台]

★ 日立シビックセンター 科学館  
井上 清正

### 天文現象

- 10月 5日(月) 下弦の月
- 10月 9日(金)～11日(日) 明け方に惑星会合(水星・金星・火星・木星)付近を月が通過
- 10月 13日(火) 新月
- 10月 21日(水) 上弦の月
- 10月 22日(木) オリオン座流星群が極大
- 10月 27日(火) 満月

### ワンポイントアドバイス

アンドロメダ銀河はぼんやりした輝きのため、街明かりの少ない場所で観察してください。

### 日立シビックセンター天球劇場の上映案内

★「恐竜探検隊～バンゲアのみみつ」平日 13:00、土日祝日 11:00・13:00 ★「星と宇宙を楽しむプラネタリウム」14:30 ★「HAYABUSA2—RETURN TO THE UNIVERSE—」16:00  
★秋のアロマスペシャル「ギリシャ神話と星々」10/23(金)19:00～、10/24(土)18:00～  
[問い合わせ] ☎0294(24)7731 <http://www.civic.jp>



日立シビックセンター科学館よりプラネタリウム入場券をペア2組にプレゼント。  
13日必着で茨城朝日宛てハガキで応募を。